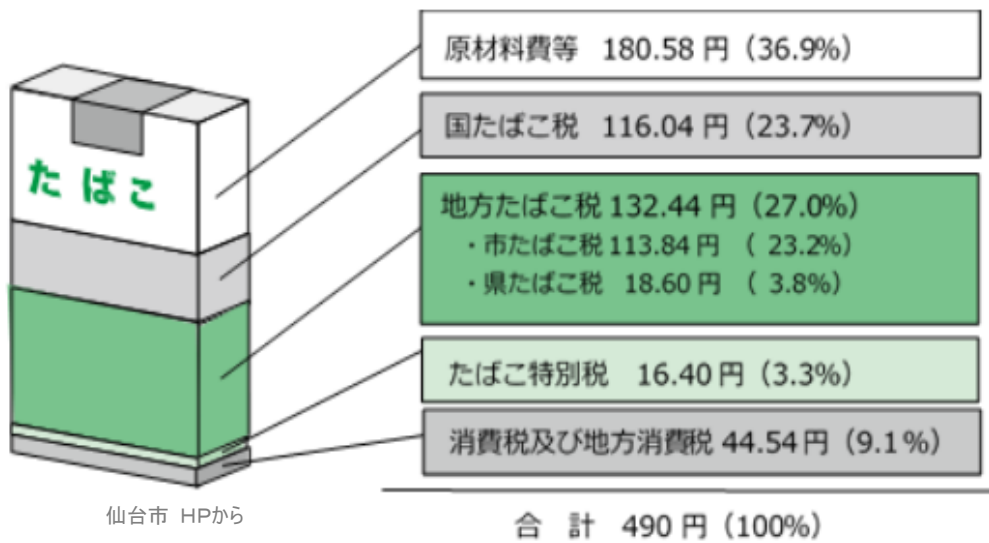


週刊 **タバコの正体**

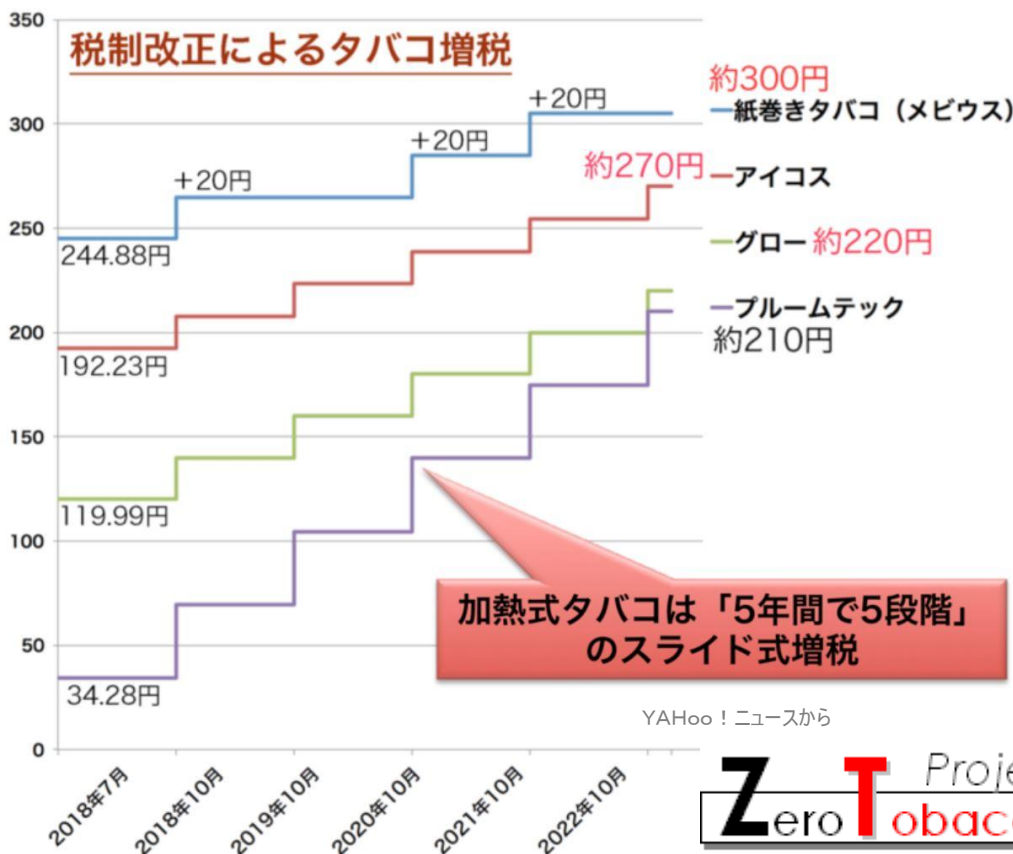
一旦、タバコを吸い始めるとニコチン依存症になってしまい、何十年も毎日吸い続けることになってしまいます。そんな喫煙者は全国に1880万人いると推定されているので、毎日、膨大な数のタバコが販売されているのですが、その価格には普通の商品とは違うものが含まれています。

タバコには嗜好品として下図に示すような税金が課せられている事を知っているでしょうか。例えば、和歌山市で490円のタバコを買うと和歌山市に113.84円、和歌山県に18.6円、国に116.04円をたばこ税として納めていることとなります。それに加え、たばこ特別税と消費税を合わせた合計は309円にもなり、タバコの価格のなんと63%は税金になっています。つまりタバコが売れるたびにかなりの税金が国や自治体に入る仕組みになっているというわけです。



税金が国や自治体に入る仕組みになっているというわけです。

次に左下のグラフを見てください。そのタバコ税は2018年から2022年にかけて段階的に値上げされる事が決まっています、今年の10月にもタバコは値上げされます。



いかがでしょうか。一箱300円以上の税金を払って有害な煙を吸い続けるなんて、どう感じますか。

そして、人々の健康を損ねるタバコが売れると国が助かる、という仕組みも何だか、おかしい感じもしますよね。

産業デザイン科  
奥田 恭久